

2016年度(平成28年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第1期募集)  
入学試験問題

試験科目	経済史		
問題区分	外国人留学生特別選抜	解答用紙枚数	2枚

以下の問について、ヨーロッパ、中国、日本のいずれかを対象地域として取り上げ、解答しなさい。なお、どの地域を取り上げて解答しているのか、解答の冒頭に明記すること。

設問 通貨制度や金融制度の発展は経済史においてどのような意義を有するのか。近代から現代にかけて具体的な通貨制度や金融制度の発展及び具体的な経済史上の事実の展開を踏まえつつ、このことを論じなさい。

2016年度（平成28年度） 金沢大学大学院人間社会環境研究科（第1期募集）

入学試験問題

試験科目	経済政策論（社会政策論を含む）		
問題区分	一般・社会人・外国人共通	解答用紙枚数	2枚

次の設問から2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

設問1 財政の役割として一般に①資源配分の調整、②所得の再分配、および③景気の安定化が挙げられる。これら3つについて詳しく説明しなさい。

設問2 政策金利がゼロに達した状況の下では、伝統的金融政策によって総需要を喚起することは極めて難しくなる。そこで日本では現在、非伝統的金融政策によってデフレーションを克服しようとしている。日本銀行が現在実施している非伝統的金融政策の概要と効果波及経路について論述しなさい。

設問3 日本型雇用システムの特徴の1つとして「長期雇用」が挙げられるが、企業は長期雇用を維持すると不況時に収益を圧迫されてしまう。では、なぜ日本企業は不況時に本格的な雇用調整を行わないのであろうか。その理由を詳しく説明しなさい。

設問4 日本では現在、国民は公的年金への加入を義務づけられており、国民の多くが公的年金と私的年金を組み合わせることで老後の生活やリスクに備えている。日本において公的年金が強制加入となっている理由を詳しく説明しなさい。

2016年度(平成28年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第1期募集)  
入学試験問題

試験科目	経営学(会計学を含む)		
問題区分	一般・社会人・外国人留学生特別選抜	解答用紙枚数	2 枚

次の設問から 2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

- 設問1 組織学習とはどのような概念なのかを説明し、さらに、企業における組織学習の意義と役割を述べなさい。
- 設問2 現代日本の大企業の経営者を、どのようにチェックしコントロールすべきなのだろうか。現状を踏まえて、自らの意見を論じなさい。  
(具体的には、東京証券取引所第一部上場企業を想定すること)
- 設問3 固定資産の減損処理の目的について説明しなさい。また、金融商品に適用されている時価評価との相違について説明しなさい。
- 設問4 繰延資産の意義について説明しなさい。またその具体的項目を3つ挙げ、それぞれ内容を説明しなさい。